

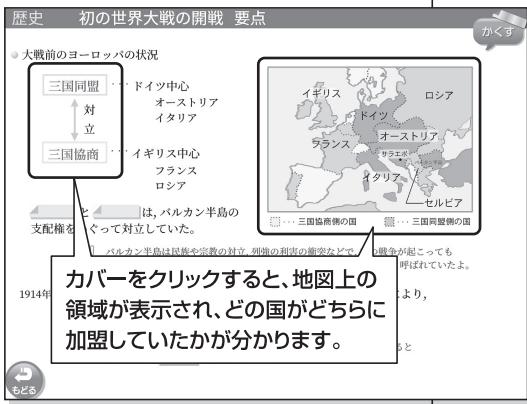
1. 学習項目

第一次世界大戦(1h計画)

2. 本時の目標

- ・第一次世界大戦における日本の動向を調べる。
- ・世界が第一次世界大戦へと突入した理由(時代背景)を理解する。

3. 本時の展開

	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1. 前時までの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州諸国の帝国主義 ・日本の戦争(日清戦争・日露戦争)での勝利 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノート等を見返して、これまでの時代の流れを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「帝国主義」等、第一次世界大戦の背景においてキーワードとなる言葉を押さえておく。
展開Ⅰ	<p>2. 第一次世界大戦勃発直前の世界情勢を調べる。 「各国間の関係を調べてみましょう。」</p> <p>＜日本の気候＞要点</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソフト画面を見ながら、「三国同盟」と「三国協商」の加盟国を確認する。 ○ 各国が、なぜ同盟を結んだのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「三国同盟」と「三国協商」、それに加盟している国を押さえる。また、各同盟が結ばれた背景に着目する。

【教科書対応表】※ この指導案は下記教科書に対応しています。ご参考ください。

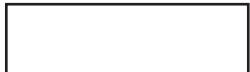
出版社名	教科書名	区分 / タイトル
教育出版	中学社会 歴史	第6章 1節 / 第一次世界大戦と民族独立の動き
東京書籍	新しい社会 歴史	第6章 1節 / 第一次世界大戦と日本
日本文教出版	中学社会 歴史的分野	第5編 1 / 第一次世界大戦と戦後の世界
帝国書院	中学生の歴史	第5章 第1節 / 第一次世界大戦と民族独立の動き
育鵬社	新しい日本の歴史	第5章 第1節 / 第一次世界大戦前後の日本と世界

	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
展開Ⅰ	<p>歴史 初の世界大戦の開戦 要点</p> <p>● 大戦前のヨーロッパの状況</p> <p>カバーをクリックすると、オーストリアがセルビアに宣戦したことが地図に表示されます。</p> <p>1914年 セルビア人がオーストリア皇太子夫婦を暗殺した サラエボ事件により、オーストリアが宣戦し、第一次世界大戦が始まった。</p> <p>日本は、日英同盟を理由に参戦! イタリアは、アドリア海領土問題で対立していたから、戦争が始まると連合軍側へ戻りました!</p> <p>カバーをクリックすると、イタリアの色が青緑からピンクに変わり、三国協商側について分かります。</p>		
展開Ⅱ	<p>3. 第一次世界大戦当時における日本の動きを調べる。</p> <p>〈第一次世界大戦中とその後の動き〉要点</p> <p>○ 第一次世界大戦当時における日本の動きを調べ、その影響について考える。</p>	<p>歴史 第一次世界大戦中とその後の動き 要点</p> <p>1915年 日本は中国に二十一か条の要求を提出する。</p> <p>1917年 近代化の遅れからロシアが第一次世界大戦に苦戦する。</p> <p>1918年 ドイツの降伏により第一次世界大戦終結。</p> <p>1919年 ドイツと連合国がパリ講和会議でベルサイユ条約を結ぶ。</p> <p>○ 第一次世界大戦当時における日本の動きを調べ、その影響について考える。</p>	<p>歴史 第一次世界大戦中とその後の動き 要点</p> <p>1915年 日本は中国に二十一か条の要求を提出する。</p> <p>1917年 近代化の遅れからロシアが第一次世界大戦に苦戦する。</p> <p>1918年 ドイツの降伏により第一次世界大戦終結。</p> <p>1919年 ドイツと連合国がパリ講和会議でベルサイユ条約を結ぶ。</p> <p>○ 日本と中国の関係に着目させる。</p>
まとめ	<p>4. 本時の学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦直前、世界は二つの勢力にわかれていた。(三国同盟と三国協商) 日本はこの混乱を機に、中国への侵略の足がかりを作った。(二十一か条の要求) 	<p>○ 本時の学習を通して分かったことや、感想を発表する。(もしくはノート等にまとめる。)</p>	<p>○ 次時以降の学習(第一次世界大戦の戦後処理)に結びつけるため、ベルサイユ条約の終結などに少し触れるよい。</p>

memo

組 番 名前

● 大戦前のヨーロッパの状況



…ドイツ中心 オーストリア・イタリア



…イギリス中心 フランス・ロシア

三国同盟と三国協商は、バルカン半島の支配権をめぐって対立していた。



→ バルカン半島は と呼ばれていた。

1914年 セルビア人がオーストリア皇太子夫妻を暗殺した により

オーストリアが宣戦し、 が始まった。

※ 日本は、日英同盟を理由に参戦。

※ イタリアは、オーストリアと領土問題で対立していたため、戦争が始まると連合

国軍側 (側) で参戦

● 日本とロシアの動き

1915年

日本 → 

要求の内容(一部の要約)

- ・中国の山東におけるドイツの権利を全て日本に渡すこと。
- ・南満州などでの日本の権益を拡大、又は、延長すること。
- ・中国政府に日本人を顧問として採用すること。

※ これにより、日本は中国へ勢力を伸ばそうとしていた。

※ この内容は中国の主権を侵害するもので、後に強い排日運動が中国に広がった。

1917年 近代化の遅れから、ロシアが第一次世界大戦に苦戦する。

レーニンが を起こしロシア政府を倒す。

1918年 ドイツの降伏により の終結。1919年 ドイツと連合国がパリ講和会議で を結ぶ。

この条約により、ドイツは植民地を取り上げられ、多額の賠償金を請求された。

組 番 名前

● 大戦前のヨーロッパの状況

三国同盟

…ドイツ中心 オーストリア・イタリア



三国協商

…イギリス中心 フランス・ロシア

三国同盟と三国協商は、バルカン半島の支配権をめぐって対立していた。



→ バルカン半島は **ヨーロッパの火薬庫** と呼ばれていた。

1914年 セルビア人がオーストリア皇太子夫妻を暗殺した **サラエボ事件** により

オーストリアが宣戦し、

第一次世界大戦

が始まった。

※ 日本は、日英同盟を理由に参戦。

※ イタリアは、オーストリアと領土問題で対立していたため、戦争が始まると連合

国軍側 (**三国協商** 側) で参戦

● 日本とロシアの動き

1915年

日本 → **中国**

二十一か条の要求

要求の内容 (一部の要約)

- ・中国の山東におけるドイツの権利を全て日本に渡すこと。
- ・南満州などでの日本の権益を拡大、又は、延長すること。
- ・中国政府に日本人を顧問として採用すること。

※ これにより、日本は中国へ勢力を伸ばそうとしていた。

※ この内容は中国の主権を侵害するもので、後に強い排日運動が中国に広がった。

1917年 近代化の遅れから、ロシアが第一次世界大戦に苦戦する。

レーニンが

ロシア革命

を起こしロシア政府を倒す。

1918年 ドイツの降伏により

第一次世界大戦

の終結。

1919年 ドイツと連合国がパリ講和会議で

ベルサイユ条約

を結ぶ。

この条約により、ドイツは植民地を取り上げられ、多額の賠償金を請求された。